

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる)生徒

校長室だより
 第7号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

平和の尊さを実感しました

九四歳の元本校教員を招いて



本校では、毎年七月
 後に、平和に関する集会

小中連携研修会



6月末の小中連携地域清掃は、雨天のため中止になりましたが、教職員の研修会は、7月4日(月)に無事行われました。熊西小学校での授業参観後、筒井小学校教職員とも一緒に研修をしました。

や授業を行っています。

その一環として、七月五日(火)に平和を考える集会を開催しました。講師は、元北九州市教育委員で、昭和二二年〜三九年の十七年間、本校の教員だった、九四歳の寺坂カタエ先生です。

「未来を拓く皆さんに伝えたいこと」と題して、

八幡大空襲の貴重な体験をもとに、戦争の悲惨さ、平和の尊さなどをお話ししていただきました。たいへん暑い日でしたが、体育館で一生涯懸命に話を聴く全校生徒の態度に、寺坂先生もたいへん感心されていました。

その後、教室に戻って、感想文を書きました。そのいくつかを紹介します。

- …突然油が降ってきて、そこから爆弾が落ちて…と考えただけでも、心が痛くなりました。結婚して二週間でお別れ…、泣きたくなりますね。せつかく運命の方と会えたのに、寂しかっただろうな。今日は、わざわざ熊西中学校に来てくださって、ありがとうございました。つらいのを思い出してくれて…。未来にも伝えていきたいです。(一年 大石志歩)
- 寺坂さんのお話には、

すぐ感情が入っていて、心の奥深くに響きました。

「戦争というものは、家やたんす、机だけではなく、人の体や心までも『灰』にしてしまふんだ」と、何回も言われていたので、ここが寺坂さんの一番言いたかったことだと思いました…。

- (二年 須藤晟裕)
- …八幡大空襲では、家の十畳の畳に焼夷弾が三六発も落ちてきて、一時間も

千羽鶴に平和への祈りをこめて



集会後、全校生徒で鶴を折りました。折り紙の内

側に平和へのメッセージと名前を書き、一人三〜四羽折りました。その後、各クラス一、三名のサポーターが鶴に糸を通し、千羽鶴が出来上がりました。

あとは、代表の生徒が小伊藤山公園におさめます。戦没者の慰霊と恒久平和への祈念、きつと届くことでしょう。